

所管事務調査を実施

産業建設常任委員会

調査日 7月4日(水)

調査内容

- ① 農業集落排水事業関連施設設(三輪処理場)
- ② 地方道路交付金事業(76号線)
- ③ 矢又地区農地・農業用施設災害復旧事業(矢又押野線)
- ④ 東部地区簡易水道配水管布設替等工事
- ⑤ 企業誘致活動の推進(有限会社 塩澤食品工業)
- ⑥ 町道新設改良事業(上郷須賀川線)
- ⑦ とちぎの元気な森づくり事業(よろこびの森)
- ⑧ 青少年旅行村の管理運営
- ⑨ 農業集落排水事業関連施設(北向田処理場)
- ⑩ 企業誘致活動の推進(株式会社 タテヤマ)
- ⑪ 県単農業農村整備事業(小川豆田地区かんがい排水事業)

【調査指導事項】

・ 処理区域の状況によつ

て、水に特徴があり、発生する微生物の種類もそれぞれ異なってくるということであるが、汚泥の量を減らす技術も進んでいる。施設の老朽化により、今後、修繕等のコストがかさむ見込みであるので、新しい技術への切り替えも検討されたい。

・ 町道76号線から続く那須烏山市側についても並行して整備を進める協議をされているとのことであるが、那須烏山市と連携をとり、早期の完成に努められたい。

・ 平成25年度以降に水道管布設替えを計画している光崎地区は、県道が未改良で狭いことから、道路改良を併せてできないか、県と協議し、連携を図られたい。

・ 町の企業立地促進条例の有利性を一層PRし、さらに企業誘致を進められたい。

・ 上郷須賀川線の事業年度は平成24年度から30年度の

予定であるが、大田原市側は改良が完了しており、通勤等にも利用されている道路であることから、できるだけ前倒しても期間を短縮して整備を進められたい。

・ とちぎの元気な森づくり事業は、多くの子どもたちや住民が親しむことができ、夏だけだけでなく、年間を通して利用されるような方法を検討されたい。



産業建設常任委員会の調査
(農業集落排水事業施設 北向田地区)

総務企画常任委員会

調査日 7月5日(木)

調査内容

- ① 屋外拡声装置整備事業(親局)
- ② デマンドタクシー「なかちゃん号」の運行状況(受付システム)
- ③ 学官連携事業
- ④ ケーブルテレビ放送センター施設の管理運営
- ⑤ 町財政の状況
- ⑥ 放射能測定状況

【調査指導事項】

・ 通院のためデマンドタクシーを利用する町民が多いと思われるが、診療は土曜日も行われていることから、土曜日の運行を検討されたい。また、午後3時半で、那須南病院に通院する場合、帰りの利用に合わないため、増便を検討されたい。

・ 宇都宮メディア・アーツ専門学校だけでなく、他の学校等との学官連携にも積極的に取り組まれたい。

・ ケーブルテレビの加入促進を図られたい。特にインターネットはケーブルテレビ加入の大きなメリットであるので、これをPRしながら促進されたい。また、自主番組にあつては地域の話題をできるだけ多く取り入れられたい。そのため、情報の収集体制の整備に努められたい。

・ 財政力指数は県内でも低く、厳しい状況であるが、地方交付税の推移に対応し、また引き続き自主財源の確保を図り効率的な財政運営に努められたい。



総務企画常任委員会の調査
(デマンドタクシー受付状況)

教育民生常任委員会

調査日 7月11日(水)

調査内容

- ① 児童館の管理運営状況
 - ② 介護予防システム(緊急通報システム)
 - ③ 馬頭東小学校エアコン設置事業
 - ④ 馬頭東小学校屋内体育館耐震補強工事及び大規模改修工事の状況
 - ⑤ 馬頭東小学校プール塗装工事の状況
 - ⑥ 馬頭広重美術館の管理運営状況
 - ⑦ 学校給食センターの管理運営状況(給食食材の放射性物質の測定)
 - ⑧ 町民プールの塗装改修工事及び管理運営状況
- ・ 児童館は平成24年度をもって廃止の方向が示されているが児童館が担ってきた役割があるので、これを担保する子どもの居場所等廃止に伴う課題の解決策を明確にされたい。
- ・ 緊急通報システムの対象は、現在一人暮らしの高齢者のみだが、高齢者世帯の場合にも必要性が出てくる

と思われることから、予算の確保等事業の充実を図られたい。

・ 馬頭広重美術館は、各機関等と横断的に連携をとり、物産展などのイベントとあわせたPRを展開するなど一層の来館者増に努められたい。

・ 安全な給食の提供に万全を期されたい。学校給食会からの食材購入の際、放射能測定データの提出を求められたい。

・ 町民プールのプールサイドの鉄柵補修も実施されたい。また、今後の町民プールのあり方を検討されたい。

調査日 7月17日(火)

調査内容

① 馬頭南保育園の管理運営



教育民生常任委員会の調査
(馬頭東小学校)

状況

② 大内保育園の管理運営状況

③ 馬頭中央保育園の管理運営状況

④ わかあゆ保育園の管理運営状況

⑤ 特定非営利法人ぼらーれの運営補助について

⑥ 国指定史跡用地の状況

【調査指導事項】

・ 大内、馬頭南保育園の廃止については、計画上、馬頭統合保育所の設置が前提である。受け皿整備のビジョンを明らかにされたい。

・ 保育所等再編計画の見直しも含め、馬頭中央保育園のあり方を検討されたい。

・ 保育士の確保に努められたい。

・ わかあゆ保育園の進入口の改善を図られたい。

・ 「ぼらーれ」は、障害者の自立支援に寄与しており、財政的援助及び仕事の斡旋等の運営支援を図られたい。

・ 町内史跡等の保存・管理に関する全体的な計画が必要だが、那須神田城跡、唐御所横穴については優先して公有地化を図られたい。

全国町村議会広報研修会報告

議会広報特別委員会副委員長 佐藤 信親

全国町村議会広報研修会が7月30・31日の2日間に亘り東京で630余が参加し開催され、本議会から5名の広報委員が研修を受けました。

『初日広報の役割と紙面の作り方』について、3人の講師の講義があり、広報誌は、議会と住民との情報伝達の架け橋である、議会の持つ情報と住民が知りた情報に格差がある。議会のことを正しく理解してもらうような情報を伝える必要がある。そのためには、住民のことを正しく理解できるように情報を受け取る必要がある。住民目線に立った文章で理解しやすい表現に注意すべきである。

特に、文章表現については、専門用語等普段なじまない表現等が使用されるため、注釈等を併記し誰もが理解できる文章表現にしななければならぬとの事。

『2日目町村広報誌に学ぶ』と題し全国7町村の広報誌を参考に紙面構成、タイトル表現の工夫、グラフ表現の活用方法について良



熱心に講義を受ける委員

い点、改善すべき点、また、表紙写真の取り方等についての講義を4分科会に分かれ受けてきました。タイトルによって、読者である住民の関心を引きつけることも重要であるとの事には、目からウロコでした。今回の研修を今後の広報誌作成に生かし住民皆様から愛される広報誌へと、また、議会情報の伝達と、住民皆様の情報が円滑に伝わるような紙面構成が出来るよう更なる研鑽に努めたいと考えておりますので皆様方からの広報に対するご意見を下さる様お願いし報告いたします。